

# Decarbonizing Tech: Path to a Net Zero IT

現在、IT 業界は世界の温室効果ガス排出量の約 6%を占めており、テクノロジーへの依存が高まるにつれ、この数値は上昇すると予想されています。NTT データでは、問題を把握するだけでなく、断固とした行動を取ることが解決策につながると考えています。

そこで、私たちは「IT 脱炭素化ロードマップ」を開発しました。これは、当社の「持続可能な IT フレームワーク」に基づく体系的なアプローチであり、企業が影響度の高い分野を評価・特定し、エネルギー使用を最適化し、IT の排出削減に効果的な戦略遂行を支援します。当社のツールと専門知識を提供することで、企業が環境目標を積極的に達成し、持続可能性に関する規制を上回ることを可能にします。

当社のアプローチは、排出量の追跡にとどまりません。AI 搭載ツールを活用することで、以下のような高度な機能を提供しています。

- 炭素排出量の急増を監視するための自動異常検知、
- 標準化された目標、指標、行動を確立するためのコンプライアンス対応レポートの作成、
- エネルギー消費量と二酸化炭素排出量の予測を組み合わせたシナリオ分析。

これらの機能により、企業はアプリケーションの運用を最適化し、ソフトウェアが環境に与える影響を最小限に抑えるための革新的な戦略を模索することができます。

この取り組みは私たちだけのものではありません。グリーン・ソフトウェア・ファウンデーションのようなグローバルリーダーとの提携や、国際的なワーキンググループへの積極的な関与を通じて、当社のソリューションが広く認められた基準とベストプラクティスに基づいて構築されていることを保証しています。社内では、イノベーション・センターと

サステナビリティ&グリーン・テックのチームが最先端の開発を推進し、環境への影響を低減するグリーン IT のようなフレームワークを構築しています。

主な成果としては、詳細な IT アセスメントを通じて、顧客の IT システムにおける具体的な二酸化炭素排出削減機会を特定することが挙げられます。さらに、当社の炭素および SCI モニタリングツールは、200 以上のマイクロサービスと 100 以上のアプリケーションをモニタリングすることに成功しています。重要なのは、当社のツールが、ソフトウェア炭素強度に関する ISO 21031 標準に準拠した初のツールであり、持続可能なソフトウェアのベンチマークを設定していることです。

これらの成果は、企業の持続可能性への取り組みを支援するだけでなく、NTT データが信頼のおける ESG アドバイザーおよびイノベーションのリーダーとして位置づけられることにもつながります。

今後、当社のソリューションはさまざまな業界で応用可能となり、世界中の企業が IT 排出量への取り組みを行い、持続可能性を中核事業に統合できるようになるでしょう。また、当社は視野を拡大し、製品に含まれる排出量やライフサイクル評価も対象とし、グリーン IT への包括的なアプローチを確保していきます。

当社の IT 脱炭素化施策は、単なるプロジェクトではありません。より良い、より環境にやさしい未来へのコミットメントです。力を合わせることで、IT 業界をネットゼロの世界に導くことができます。